

# Asteria 英語 4技能 講座

聴く  
Listening

読む  
Reading

話す  
Speaking

書く  
Writing

多様な人々が存在する国際的な環境の中で、コミュニケーションをはかり、協働することを可能にする英語力を育てる講座です。

時間や場所の制約を受けることなく、4技能を総合的に伸ばせます。

## 【中学生～社会人】推奨

特に、下記にあてはまる方におすすめです。

- 学校の授業や進学塾などでは対策が行いにくい、英語の発信力を高めたい方
- 学校の授業や進学塾で、「進度が遅い」「レベルがもの足りない」と感じている方
- 部活などで忙しく、教室に通う時間が取れない方
- 海外大学への進学、国際系大学・学部への進学、国内大進学後の海外留学などを希望されている方
- 英語4技能試験（ケンブリッジ英検、TOEFL iBT や IELTS、TEAP、英検など）で好成績を修めたい方
- 英語で適切にコミュニケーションをとる力を身につけたい方
- 英語を使って、仕事や活動の幅を広げたい方

1. 大学入学共通テスト（仮）でも採用される国際規格CEFR（セフアール）に沿って、技能ごとに適したレベルで学習が始められる

2. アダプティブ学習により自分に合ったペースで学習できる

3. 「地図を説明する」「SNSに投稿する」など目的が明確だから、実用的な英語が身につく

4. 文法も身につけつつ、ライティングやスピーキングの発信技能を高められる

基本的な学習の流れ



## 1. 国際規格CEFRに沿い、技能ごとに適したレベルで学習が始められる

CEFR（セフアール）とは、「その言語を使って何ができるか」を測る、言語能力の国際的な尺度で、A1から最上位のC2まで6段階に分かれています。日本人の場合、大学卒業後も多くがA1・A2レベルにとどまっており、特に書く・話すの発信技能はA1レベルに集中しています。文部科学省は高校卒業段階でB1～B2程度（英検2級～準1級程度）の英語力をつけることを目標にしていますが、現状との差は非常に大きい状況です。このことは、これまでの英語教育では「使える英語力」は身につかない、ということを実証しています。

2020年度からの大学入学共通テスト（仮）で、成績をCEFRのレベルで判定し合否決定に活用する方針が示されたことは、大きな転換といえるでしょう。

CEFR		レベルの目安 【英検との比較】	CEFR-J
Proficient User 【熟達した使用者】 様々な状況で英語をそのままに用いることができ、場面にあった言葉づかいや文法を選択できる。	C2	1級	C2
	C1		C1
Independent User 【自立した使用者】 日常生活や学習、仕事などで必要な英語を理解し、ある程度流暢に自分を表現することができる。	B2	準1級	B2.2
	B1		B2.1
Basic User 【基礎段階の使用者】 身近なことやなじみのあるトピックであれば、日常生活で使われる英語を理解し、用いることができる。	B1	2級	B1.2
	A2		B1.1
	A2	準2級	A2.2
	A1		A2.1
	A1	3～5級	A1.3
			A1.2
			A1.1
			PreA1

※CEFRのレベルを示す表現は、Z会グループ「基礎学力総合研究所」の定義によるものです。

とはいえ、日本の中高生がCEFRで要求されるような英語4技能の活用力を身につける教材は多くありません。そこで本講座では、CEFRを日本人向けに細分化した指標CEFR-Jを採用しています（左ページの表を参照）。CEFRのA1、A2、B1、B2の4段階を、さらに細かく9段階に分類し、レベルごとに教材を用意しているので、無理なく力をつけていくことが可能です。



初回受講時に、上記の画面から現在の学年やこれまでに受検した英語の外部試験の結果などを入力していただくと、右の「学習開始レベルの例」のように、4つの技能ごとに適切なレベルを判定しますので、どなたでも、自分に合ったスタート地点から学習が始められます。

目標とするレベルは「海外大学進学／難関大学進学／大学進学後の留学／英語を使って働く／日常会話を身につける」など、何をゴールにするかによって異なりますが、概ねB1～B2を目指します。

### 学習開始レベルの例

Aさん（中1）  
小さいころイギリスに住んでいたから英語は得意で中学の授業は少し退屈。小学生の時に英検2級にも合格した！ゆくゆくは海外大学進学も考えたい！

- Listening B1.1
- Reading B1.2
- Writing B1.2
- Speaking B1.1

Bさん（中1）  
英語は小学校のときに少しだけ塾で勉強したことがある。英語の検定試験は受検したことがない。英語を得意にしたい！

- Listening A1.2
- Reading A1.2
- Writing A1.2
- Speaking A1.2

Cさん（高1）  
英語は嫌いじゃないけど成績は今一つ…。英語の検定試験は受検したことがない。難関大学に進学したい！

- Listening A2.1
- Reading A2.1
- Writing A1.3
- Speaking A1.3

## 2. アダプティブ学習により自分に合ったペースで学習が進められる



すべての人が、自分にとって「ちょうどいい」レベルでの学習ができるように——。この課題を解決すべく誕生したのが「アダプティブ学習」のテクノロジー。本講座で採用している Knewton, Inc 社のアダプティブエンジンは世界各国の学校・学習サービスで採用され、高い学習効果を上げています。

これにより、問題を1問解くごとに、解答の正誤や学習履歴、理解度などから総合的に判断して、次に学習するのに最適な問題をリアルタイムで提示するので、無理なく学習を進めることができます。

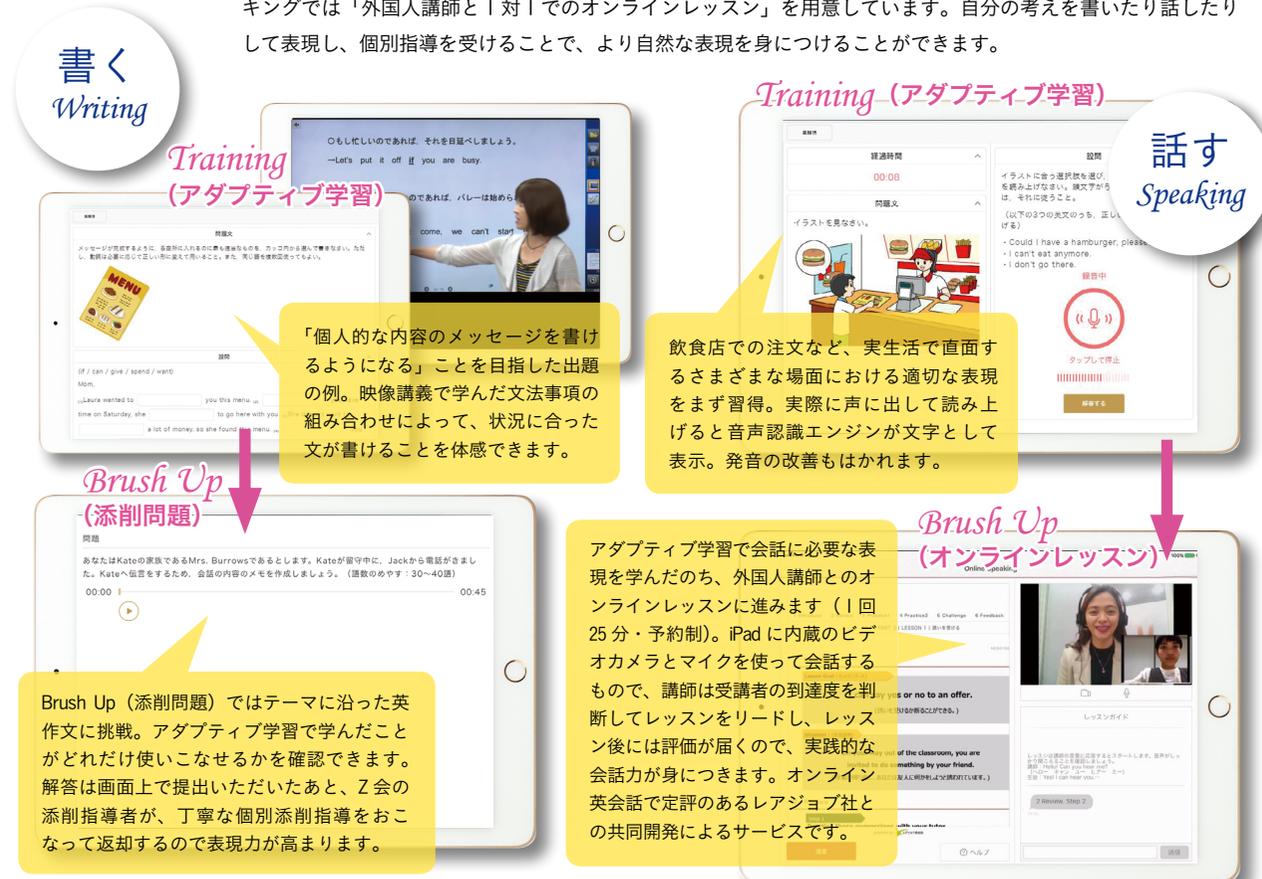
理解が不十分な場合には復習となる内容へ、十分理解できたら新しい内容へと、つねに自分の理解度に即した過程をたどりながら学習を進めることができるので、じっくり学習したい方にも、先にどんどん進めたい方にもお使いいただけます。

### アダプティブ学習のメリット

- 自分の理解度に即した過程をたどりながら学習を進められるので、学習効果が高い
- 自分では気づきにくい弱点を発見し、それに合わせた課題がすぐに提示されるので、つまづきに対して早期に対処できる
- 固定的なカリキュラムに学習する側が合わせるのではなく、関連の深い学習項目を自分に合ったペースで学習できる

## 4. 文法も身につけつつ、ライティングやスピーキングの発信技能を高められる

アダプティブ学習で学んだあとのブラッシュアップの場として、ライティングでは「英作文の添削問題」、スピーキングでは「外国人講師と1対1でのオンラインレッスン」を用意しています。自分の考えを書いたり話したりして表現し、個別指導を受けることで、より自然な表現を身につけることができます。



## 3. 「地図を説明する」「SNSに投稿する」など目的が明確だから、実用的な英語が身につく

「聴く」「読む」「話す」「書く」の4技能をバランスよく、B1～B2レベルまで高めるため、本講座では、A1～B2の各レベルに相当する Can-do リストを設定。それぞれのレベルごとに、「英語でできるようになってほしい項目」を明確化し、それに沿って出題を行います。

学習は、たとえば「身近な人に近況を伝える簡単な手紙を書く」といった目的が先に提示され、その達成のために必要な文法知識を学ぶという順序で進みます。これは、まず文法を教えることから入り、習得した文法事項を使って文章読解や英作文ができるかを問う、といった従来の英語教育とはまったく逆のアプローチ。こうした手順で学ぶことで、文法起点だと見失いがちな学習目的を意識しやすく、結果として、使える英語を効率よく身につけられるのです。



### 価格

決済方法によって、受講可能なプランや金額が異なります。まずオンラインレッスンの1カ月あたりの回数について、ご希望に合ったプランをお選びください。クレジットカード決済の場合は、受講を開始される前に、Webサイトよりお手続きが必要となります。Asteriaアプリ上で受講申込みを行うと、App内課金での契約となり、Apple社の手数料を含む金額がお客様の iTunes アカウントに課金されます。  
\*価格は変更になる場合がございます。

プラン	オンラインレッスンの回数	おすすめ	
		クレジットカード決済	App内課金
Speaking ライト	2回 / 1か月	7,800円	
Speaking レギュラー	4回 / 1か月	9,800円	12,800円
Speaking 速習	6回 / 1か月	11,800円	

(税込・1か月間有効)

\*英語4技能講座の4技能のうち、Speakingについては、各レベル・PARTの全オンラインレッスンを受講することで、次のレベルに進める仕組みとなっています。よって、1か月のレッスン回数が少ないプランは、回数の多いプランよりも目標とするレベルに到達するまでに必要な受講期間が長くなります。  
\*オンラインレッスンをその月に受講しなかった場合でも、発行日から180日のあいだ受講が可能です。